

# Topics THE RESEARCH INSTITUTE FOR TIME STUDIES

## 時間学カフェ

2014年、当時の所長、甲斐昌一先生の発案で始まったのが『サロン時間学』。

『サロン時間学』とは、『知の交流と、創造』をコンセプトに、普段あまり接する機会のない異分野の人たちと同じ時間を過ごす会です。毎回変わる話題提供者の話聞きながら、疑問に思ったこと、思いついたことを声に出し、そこからいろんな発想に繋がっていく、そんな「何か発見できそうな」和気あいあいとした異分野交流を楽しむことができます。もっとたくさんの人たちにフラッと立ち寄って話をしたいと願い、『サロン時間学』から『時間学カフェ』へとリニューアルし、現在も交流の場として開かれています。



## 時間学の本

時間学研究所では、時間学に関する本を刊行しています。現在、4巻まで刊行しており、全8巻まで刊行する予定です。忠犬ハチ公の物語はなぜ生まれたのかなど、さまざまな事象を時間学の視点から紐解いています。

- 時間学の構築I 防災と時間
- 時間学の構築II 物語と時間
- 時間学の構築III ヒトの概日時計と時間
- 時間学の構築IV 現代社会と時間



## 「時」を表現する絵画

時間学研究所長室と総合研究棟フォーラムスペースには、本学名誉教授で画家でもある千葉喜彦氏が描いた絵画が4点飾られています。

作品は、1日の時間によって形状を変化させる生物の性質を表現したもの、生物の体内時計に関する遺伝子の働きが光の影響を受けることを表現したものなど、いずれも「時間」という共通のテーマをもとに描かれています。

# 財務データガバナンス

Financial data Governance

